

牛久：学校周辺に見る自然

第42号 ひたち野西近隣公園(ひたち野うしく小)

2012年11月30日発行

＜水辺公園、秋の動物たち～冬越しに備えて①チョウの仲間＞

11/8、今年も、ひたち野うしく小4年生たちと一緒に、水辺公園で秋の生きもの観察をしました。観察からだいぶ日がたっていましたので、今回は特に目だった生き物や、これまでに報告しなかった生きものについて紹介したいと思います。



黄色のオスが、白いメスの行く手をさえぎって求愛する、モンキチョウ。

まずは、**モンキチョウ**。白いチョウが黄色のチョウを追いまわしているように見えるかもしれませんが、じつは黄色のオスが白いメスの行く手をさえぎって、求愛しているのです。色は違いますが、もようはほとんど同じですね。このチョウは、仲間のモンシロチョウと同じくさなぎで越冬しますが、今から産卵し、それが無事にさなぎまでたどりつけるのか、ちょっと心配になりました。



こちらは、**ヤマトシジミ**のメス(左)とオス(右)。幼虫で越冬しますが、メスの翅はもうボロボロですね。

幼虫越冬するヤマトシジミのメス(左)とオス(右)。



同じくシジミチョウの仲間、**ベニシジミ**。こちらも幼虫で越冬します。

この公園の樹木^{じゅもく}には、みの虫も結構ついています。左下は、**チャミノガ**。みのの中で、幼虫で越冬します。その左にぶら下がっているのは、イヌシデ^{かじつ}の果実。

右下は、イシミカワの果実が青や紫に輝いててきれいだっただけで写真を撮っていたのですが、よく見るとそこに、果実を食べている毛虫がいました。あまり自信ありませんが、**モンシロドクガ**の幼虫のようです。このガも、幼虫で越冬するそうです。

幼虫越冬するベニシジミ(左)、チャミノガ(下左)、モンシロドクガ(下右)。



最後に、**ヒロヘリアオイラガ**の幼虫と、そのまゆです。^{じゅひ}樹皮とそこに付けられたプレートとの間に、まゆと幼虫がいましたね。幼虫はじっとしていましたが、その1週間後に再びのぞいてみたら、右の写真のようにまゆになっていました。

【理科支援員 宮内】



ヒロヘリアオイラガのまゆと幼虫(左)。1週間後には、その幼虫もまゆの中に入っていた(右)。